

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和3年8月24日	担当部署	自治・市民環境部 環境保全課
-------	-----------	------	----------------

※以下は令和3年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人名	公益財団法人 雪だるま財団		
代表者	理事長 渡辺 武敏		
	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤	<input type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他
所在地	新潟県上越市安塚区安塚 722 番地 3		
設立年月日	平成 23 年 8 月 1 日（財団法人雪だるま財団は、平成 2 年 9 月 1 日設立）		
基本金	151,000 千円	市出捐割合	100.0%
設立目的	雪国の持つ地域資源を活用し、自然エネルギーの利用を推進するとともに、体験交流活動の促進と地域振興を図ることにより、地球温暖化の防止、人材の育成、青少年の健全な育成、並びに地域社会の発展と雪国生活の向上に寄与すること。		
主な事業	(1) 雪国の暮らし向上に関する支援 (2) 自然エネルギーに関する調査研究及び普及促進 (3) 体験交流活動の実施及び促進 (4) 地域資源の調査及び伝承並びにその活用 (5) 地域資源を活用した体験交流旅行の企画及び実施 (6) 住みよい地域づくりの企画、提案 (7) (1)から(6)に掲げる事業を実践する人材の育成、情報収集及び公開、関連する個人・団体間の交流・連携の促進		

3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
理事	2	3	5	2	0	3
監事	0	1	1	0	0	1
計	2	4	6	2	0	4

4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	4	4	0
その他	0	0	0
計	4	4	0

5 事業実績（概要）

【令和2年度の経営状況】

- ・ 令和2年度の経常収益は、前年度と比較して1,400千円の増の24,651千円となりました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、事業収入が減少したものの、国の持続化給付金や雇用調整助成金等の収入があったことが主な要因です。
- ・ 経常費用は、人件費等の経費節減に取組み、前年度と比較して6,541千円の減の26,842千円となり、この結果、当期一般正味財産増減額は△2,191千円となりました。

【公益目的事業】

(1) 自然エネルギー推進事業

① 自然エネルギーに関する調査・研究

- ・ 雪冷熱や太陽光等の自然エネルギーを活用した技術開発、地域資源の有効活用のための調査及びシステムの研究開発を実施

② 自然エネルギーの普及・推進活動

- ・ 雪室の利活用の推進及び運営支援の実施
- ・ 小中学生を対象とした自然エネルギーの知識を学ぶ講話を実施
雪利用を学ぶ講話（128人）
- ・ 専門家を派遣し、雪を利用した食のブランド化や雪氷熱エネルギーの導入に関する技術指導を実施
- ・ 雪室の活用や雪室食品の開発に取り組む事業者及び行政等と連携し、雪の利活用促進と雪国文化の発信、雪室食品のPRを実施
- ・ 機関紙「雪だるま通信」やホームページ等に活動状況を掲載
「雪だるま通信」発行実績……4月、7月、12月、3月

(2) ふるさと交流事業

① 越後田舎体験事業の実施

年 度	団体数	内 訳				人 数 (人)	泊 数 (人)
		小学校	中学校	高校 大学	その他		
平成30年度	43	10	22	8	3	3,959	8,081
令和元年度	40	9	20	5	6	3,273	6,528
令和2年度	15	6	3	4	2	1,004	339

② 雪国の魅力ある地域資源を活用した交流事業の実施

- ・ 上越市とその周辺地域における地域資源を活用した旅行企画と情報発信、営業活動

【収益事業】

(1) 情報通信事業

- ① 各種団体の情報受発信のための支援
- ② 各種団体のホームページの運営支援
 - ・ 越後田舎体験推進協議会

(2) 事務委託事業

- ① 越後田舎体験推進協議会からの受託事業
 - ・ 越後田舎体験推進協議会の総会・役員会・幹事会等の会議の開催及び運営

6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項 目		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
		自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 3 月 31 日	自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 31 日	自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部			
	経常収益	40,490	23,251	24,651
	基本財産運用益	2,045	2,245	2,175
	特定資産運用益	0	0	0
	受取会費	938	985	917
	事業収益	35,806	18,960	14,718
	受取補助金等	1,200	500	0
	その他経常収益	501	561	6,840
	経常費用	41,263	33,383	26,842
	事業費	39,241	30,570	24,764
	管理費	2,022	2,813	2,078
	当期経常増減額	△773	△10,132	△2,191
	経常外収益	0	0	0
	経常外費用	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0
	税引前当期一般正味財産増減額	△773	△10,132	△2,191
	法人税等	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	△773	△10,132	△2,191
	一般正味財産期首残高	26,502	25,728	15,596
	一般正味財産期末残高	25,729	15,596	13,406
指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	151,000	151,000	151,000	
指定正味財産期末残高	151,000	151,000	151,000	
正味財産期末残高	176,729	166,596	164,406	
項 目		平成 31 年 3 月 31 日現在	令和 2 年 3 月 31 日現在	令和 3 年 3 月 31 日現在
貸借対照表	資 産	181,941	171,070	165,995
	負 債	5,212	4,473	1,589
	正味財産	176,729	166,596	164,406
	指定正味財産	151,000	151,000	151,000
	一般正味財産	25,729	15,596	13,406

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

7 市からの財政支出等

(1) 委託額 (税込)

(単位：千円)

内訳		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
①	雪室や雪利用を学ぶ環境講座	443	0	0	
②	上越市体験型観光営業活動業務	608	608	0	越後田舎体験営業業務推進
③	旧雪のまちみらい館 雪室穴あけ業務	25	0	0	
④	樽田雪中貯蔵施設設計支援業務	0	2,780	0	
⑤	樽田雪中貯蔵施設 展示用パネル作成業務	0	0	440	
計		1,076	3,388	440	

(2) 財政援助額 (税込)

(単位：千円)

内訳		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
①	補助金 (助成金) (※)	1,200	500	0	
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他 ()	0	0	0	
計		1,200	500	0	

※ 雪室推進プロジェクト事務局運営費補助金(H28～H30)、旧安塚ほのぼの荘雪室運営費補助金(H29～R1)

8 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

<p>【公益目的事業】</p> <p>(1) 自然エネルギー推進事業</p> <p>①自然エネルギーに関する調査・研究</p> <p>②自然エネルギーの普及・推進活動(自然エネルギーの導入、雪の利用に関する技術的指導や情報発信等を実施)</p> <p>(2) ふるさと交流事業</p> <p>①小中高校生等を教育体験旅行で地域に受け入れる「越後田舎体験」事業</p> <p>②魅力ある地域資源をいかした交流事業</p> <p>【収益事業】</p> <p>(1) 情報通信事業</p> <p>①各種団体等の情報の受発信のための支援</p> <p>②各種団体等のホームページ作成及び運営支援</p> <p>(2) 事務委託事業</p> <p>①越後田舎体験推進協議会からの受託事業</p>
--

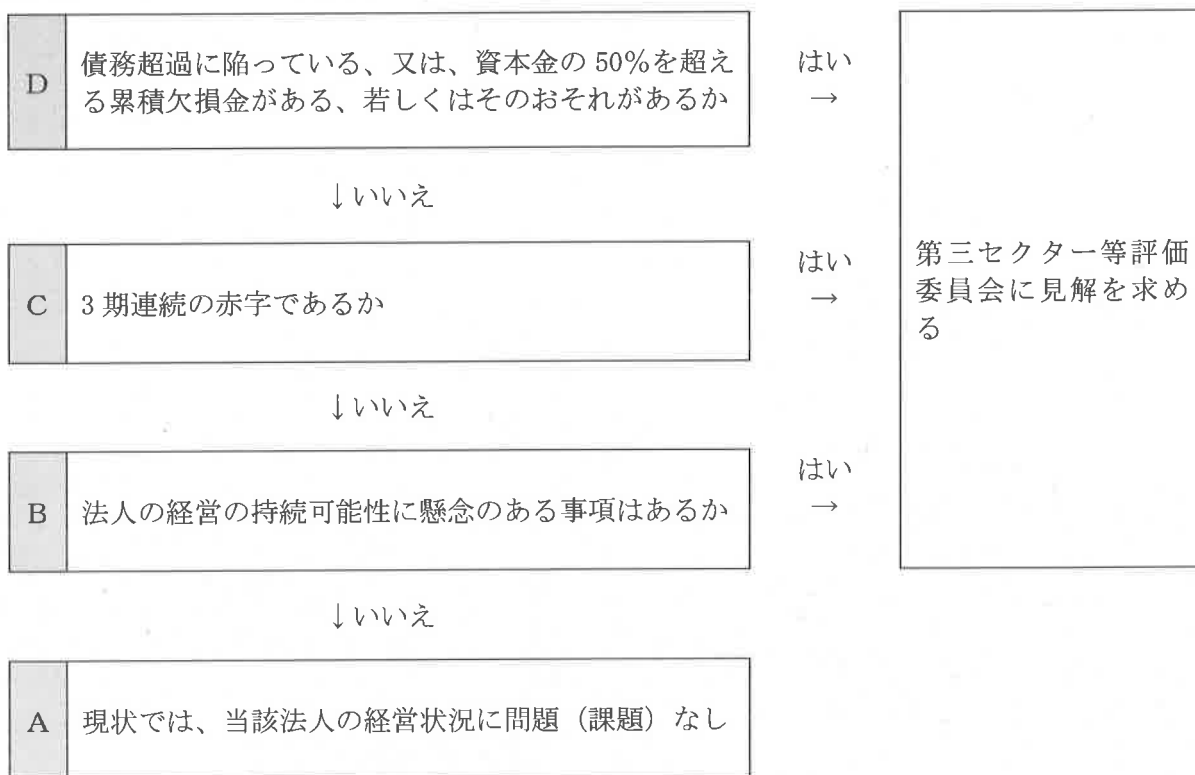
(2) 中長期経営計画

なし

9 令和3年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクター等の経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクター等に対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、第三セクター等評価委員会に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	C	→ BからD評価の法人は(2)へ
<p>【特記事項】</p> <p>4期連続で正味財産が減少しているため、C評価となりました。</p>		

- ・ 非営利法人においては、累積欠損金という概念がないため、初期の正味財産に対する減少分を累積欠損金と読み替える。
- ・ 「3期連続の赤字」の判断においては、「当期一般正味財産増減高」と「当期指定正味財産増減高」の合計がマイナスとなる場合は、赤字と読み替える。

(2) 令和3年度 第三セクター等評価委員会の分析・評価

第三セクター等評価委員会の評価
■ 課題あり □ 課題なし
第三セクター等評価委員会の分析
【上記評価の理由】 ① 自然エネルギー推進事業において、中核的な人材の退職により、知識やノウハウがなくなったことに伴い、次年度以降、厳しい状況が見込まれる。現在の人材構成の中で、自然エネルギー推進事業における今後の方向性を定めていく必要がある。 ② ふるさと交流事業も、コロナがなかなか収束しないことを鑑みれば、V字回復は厳しいが、「雪」という発信力の強い武器をいかして交流事業に繋げる必要がある。
【その他指摘事項等】 ③ 一方で、設立目的の一つ（自然エネルギー推進事業）が達成できない情勢となってしまった以上、今後の事業の在り方について検討されるべきである。

(3) 分析・評価結果を受けての対応方針

第三セクターによる対応方針
① これまで培ってきた知識やノウハウを活かして、市内の学校等において学習の機会を提供するほか、雪室の視察案内を行うなど自然エネルギーの周知・啓発に努めていくとともに、雪室等のコンサルティング事業について、民間事業者との業務提携を進めていく。 ② 地域との体験交流や宿泊・観光施設との連携・コーディネートが重要であり、地域の特色を活かしながら、地域の活性化のためのイベントや交流事業への協力・支援を積極的に行っていく。 ③ 役員、職員数を減らし、人件費・経費の削減に取り組んでいるが、「ふるさと交流事業」以外の分野で収益を確保することは非常に難しいため、今後は事業の在り方を含め、法人の方向性を検討していく。
市担当部署による対応方針
・雪だるま財団は、職員の人件費・経費の削減に取り組むなどの経営努力により、昨年度と比較して収支の改善が図られたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、自然エネルギー推進事業やふるさと交流事業の収入が不安定である。 ・収支状況の悪化による法人の持続性に依然として懸念があることから、他の地域団体との事業連携なども含め、引き続き、財団の事業の在り方について、財団とともに検討していく。

10 令和2年度 第三セクター等評価委員会の分析・評価に対する対応状況

令和2年度 第三セクター等評価委員会の分析・評価【概要】

- ① 経常収益の大部分を雪冷熱に係るコンサルティング事業収入に依存しており、収益構造に課題がある。
コンサルティング事業収入に代わる新たな収益源を獲得するとともに、売上及び限界利益の規模に合わせた諸経費構造となるよう人件費等を精査する必要がある。
- ② 調査や研究、普及業務等にかかる委託料など相場の予想が難しい経費ほど每期十分に検討すべきである。
- ③ 流動資産（現預金）の大幅な減少等は経営や財務に影響を与えるため、中長期経営計画を策定した上で資産の減少や投資のタイミング等について十分に検討すべきである。

第三セクターによる対応状況

- ① コンサルティング事業については、民間事業者と業務提携するなど、民間事業者へ一定の業務移管を行うこととした。収入確保に向けては、雪室を活用した雪室食品の開発支援を行ったほか、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、越後田舎体験事業について、首都圏に捉われず、新たに県内や近隣県からの集客を図り、受入れを行った。
また、収支構造の改善のため、役員及び職員の人件費等の経費削減に取り組んだ。
- ②③ 毎期の経費予測を行うとともに、法人の在り方を含め、事業の実施手法の見直しを行っている。

市担当部署による対応状況

- ・収支状況の悪化による法人の持続性に懸念があることから、他の地域団体との事業連携などの可能性や手法について、検討を行っている。

令和2年度事業報告及び決算報告書
令和3年度事業計画及び当初予算書



自然エネルギー推進、ふるさと交流事業を中心として、地域資源の価値を高め、地域を盛り立てることに重点を置き事業を展開した。また、それぞれの事業で地域資源を活かし、人・物の連携を図り活動を行った。

■ 公益目的事業

自然エネルギー推進事業

(公1) 雪国に賦存する地域資源を有効活用し、環境保全と地域社会の発展に寄与する事業

(事業の内容)

地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出抑制効果がある自然エネルギーの有効活用について調査研究や普及活動を継続して行い、環境保全と地域社会の発展に寄与した。

1 自然エネルギーに関する調査・研究

雪冷熱等の自然エネルギーを活かした技術開発を行い、地域資源を有効に活用する調査、及びシステムの研究開発を行った。

(1) 雪冷熱等の自然エネルギーの導入に関する調査

・「東京農業大学」と地域包括連携協定を締結

雪室貯蔵の科学的な知見、エビデンス調査に協力が得られると共に、学生との交流から新たな研究課題や貯蔵実験等も期待できたが、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により実施できなかった。

(2) 雪冷熱エネルギー活用の新たな施策検討のための調査研究

①民間事業者による雪冷熱導入施設の誘致・整備に向けた建設費の低コスト化の検討

・既設施設の稼働状況の調査（温湿度データの収集・記録）

②農畜産物等の雪中貯蔵に伴う、商品化に向けた試験・調査・分析（有効な貯蔵方法や期間の検証、雪中貯蔵効果事例の検証）

・らっきょうの雪室貯蔵試験

・雪室貯蔵カカオ豆の性状変化に関する調査

・雪室を活用した食品等の貯蔵試験（畜肉、日本酒、玄そば、味噌、醤油）

・大豆の雪室貯蔵試験

2 自然エネルギーの普及・推進活動

(1) 自然エネルギーを活用した雪室の利活用の推進と運営支援

① 利雪型貯蔵施設建設に伴う技術支援業務

② 「雪冷熱エネルギーを利用した倉庫」における倉庫業申請支援業務

③ 利雪型精米工場建設に伴う基本設計、コーディネート業務

④ 「雪室推進プロジェクト」の運営支援

雪室推進プロジェクトの事務局として、雪室の活用や、雪室食品の開発に取り組む事業者、行政等と連携しながら、雪室の利活用促進と雪国文化の発信、雪室食品の販売促進、認知度向上に取り組んだ。

- ・「雪室推進プロジェクト」会員募集、会費徴収事務、会議運営、会計事務、雪室商品の物販支援、雪室の活用推進
- ・その他、関係機関と連携を図り、「雪室推進プロジェクト」の事業展開に向けての検討、事業調整、取材対応など情報提供、事業協力等を行った。

⑤ 和田雪室の管理運営

雪室推進プロジェクトのメンバーを中心に本年度は 20 事業者が利用

- ・貯蔵品の配置計画、搬入搬出の管理、貯蔵品の状況確認
- ・貯蔵環境の維持（温湿度の記録）、施設の管理（清掃、草刈り、除雪等）
- ・貯雪スペースへの雪入れ作業支援、雪コンテナへの雪入れ作業
- ・フォークリフト、備品等の管理
- ・雪室利用者への連絡調整、会計業務

(2) 自然エネルギーに関する理解や認知度の向上と利用拡大を目指すためのセミナーの開催

- ・第 15 回雪の市民会議（中止）

「雪の市民会議」は、雪に関する幅広い情報を共有し、ネットワークを広げていくため、毎年度 1 回 7 月頃に開催している。秋田県大曲市で開催する予定だったが、コロナ禍の影響で中止とした。

(3) 地球温暖化防止への意識を高めるため、小・中学生を対象とした自然エネルギーの知識を学ぶ教育プログラムの実施

- ・「利雪の取組み」／南魚沼市立六日町小学校（84 名）
開催日：令和 2 年 9 月 9 日
会 場：南魚沼市立六日町小学校
- ・「雪の降る仕組み、利雪について」／上越市立大手町小学校（44 名）
開催日：令和 3 年 2 月 8 日
会 場：上越市立大手町小学校

(4) 相談・助言

自然エネルギーの導入促進及び普及を図るため、専門家の派遣等

- ・新潟県立大学への講師派遣（10 月～1 月 毎週火曜日 リモート開催）
- ・越後雪室屋への会議出席（年間）・助言・指導
- ・雪下雪室研究会への助言・指導（1 回）
- ・勝山市雪氷熱エネルギー利用促進協議会アドバイザー（1 回）
- ・道の駅あらい雪室の雪入技術支援
- ・雪室の雪入技術支援

- ・樽田雪中貯蔵施設施工に係るアドバイス／上越市
- ・樽田雪中貯蔵施設の雪入技術支援／上越市
- ・工場誘致に関する雪氷熱エネルギーの導入に向けた助言・指導／魚沼市
- ・地域資源である雪解け水を活用した事業化検討事業委員会委員長
- ・雪利用施設導入のための現地視察、現地指導

(5) ホームページや雪だるま通信などによる情報発信、視察対応

自然エネルギーの導入促進及び普及につながる情報収集を行い、様々な情報媒体を活用し情報提供を行なった。

- ① それぞれの活動について、雪だるま通信（機関紙）やホームページ等へ適時に掲載した。
 - ・雪だるま通信発行 4回：4月、7月、12月、3月
- ② 講演
 - ・令和3年1月26日 雪下雪室研究会（10名）
 - ・令和3年1月28日 湯沢温泉観光協会（15名）
- ③ 視察の受入（5団体）
- ④ 新聞・雑誌等の取材対応を行い、雪だるま財団の取り組みと雪冷熱の活用と導入などについて情報発信した。

ふるさと交流事業

(公2) 地域資源を活かした体験交流を促進し、青少年の健全な育成及び地域の活性化に寄与する事業

(事業の内容)

日本の原風景とそこに生きる人々の暮らしを活かした体験交流活動や地域づくりの提案等を行い、青少年の健全な育成、地域の活性化に寄与した。

- 1 小中高生等を教育体験旅行で地域に受け入れる「越後田舎体験」事業を行った。
越後田舎体験推進協議会の事務局を受託し、コーディネータ役として、協議会の運営、学校団体の受入れ、地域連携の強化、営業・情報発信等を行った。
 - (1) 地域資源を活かした教育旅行の受入れ (15 団体 実人数 1,004 人)
小学校 6 校、中学校 3 校、高校 2 校、専門学校 2 校、一般団体 2 校
※新型コロナウイルス感染症の影響によるキャンセル (32 団体 実人数 3,264 人)
 - (2) 体験活動に関する指導者等の人材育成のための研修・セミナーの実施
 - ・研修会等資料の作成 (コロナ感染対策のため研修会は中止)
 - ・新型コロナウイルス感染症のための受入れ対応マニュアルの作成、配布
 - (3) 体験活動に関する情報提供 (雪だるま通信)、ホームページ等
 - ・田舎体験かわらばん発行、ホームページへの情報掲載

- 2 魅力ある地域資源を活かした交流事業を行った。
行政・地域・各種団体との連携や他地域との連携を図りながら、観光交流人口の拡大を目指した。
 - (1) 上越及びその周辺地域における地域資源 (自然、農林漁業、暮らし・文化・歴史、人材等) を活用した宿泊施設の開拓と個人旅行の誘致
 - ・受入施設、体験素材等の情報収集、提案、企画
 - ・個人旅行向けの体験素材づくりと誘客のための情報発信を行った。
 - (2) 観光事業における各種団体等との連携・情報発信
上越市安塚区地域活動支援事業に取組む安塚区内の団体等と連携し事業協力を行った。
 - ① イベント開催協力 (にぎわい体験ワークショップ、幸せの灯ろうまつり)
 - ② 資料作成協力
 - (3) 各種情報提供、視察等の開催
 - ・個人旅行向けサイトへの情報掲載、更新

- 3 行政・地域・各種団体と連携し、地域の人々に対して、持続可能なまちづくりを目指した企画・提案等を行った。
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により研修会・学習会等ができなかった。
 - ・今後のまちづくりのための情報収集・検討を行った。

■ 収益目的事業

(収 1) 情報通信事業

- (1) 各種団体等の情報の受発信のための支援
 - ・ 名刺作成
- (2) 各種団体等のホームページ作成及び運営支援
 - ・ 越後田舎体験推進協議会ホームページ保守・管理

(収 2) 事務委託事業

越後田舎体験推進協議会より委託を受け、下記の事務を行った。

- (1) 越後田舎体験推進協議会の総会等の会議、研修・視察等開催・運営
 - ・ 田舎体験担当者会議の開催
 - ・ 田舎体験総会の議案、資料作成等
- (2) 越後田舎体験推進協議会の会計事務
- (3) その他総務事務
 - ・ 営業資料の作成、資料の発送等を随時行った。

決 算 報 告 書

(第 10 期)

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月 31日

公益財団法人 雪だるま財団

貸借対照表

令和 3年 3月31日現在

公益財団法人雪だるま財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,920,080	8,105,166	△ 1,185,086
未収入金	5,501,278	8,705,188	△ 3,203,910
仮払金	0	21,241	△ 21,241
流動資産 合計	12,421,358	16,831,595	△ 4,410,237
2. 固定資産			
基本財産	151,000,000	151,000,000	0
建物付属設備	1,085,223	1,182,520	△ 97,297
車両運搬具	479,706	720,278	△ 240,572
什器備品	297,969	624,753	△ 326,784
保証金	700,000	700,000	0
預託金	10,360	10,360	0
固定資産 合計	153,573,258	154,237,911	△ 664,653
資産合計	165,994,616	171,069,506	△ 5,074,890
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	0	0	0
未払金	1,336,668	4,039,391	△ 2,702,723
預り金	252,400	283,860	△ 31,460
前受金	0	0	0
流動負債合計	1,589,068	4,323,251	△ 2,734,183
2. 固定負債			
退職給与引当金	0	150,000	△ 150,000
固定負債 合計	0	150,000	△ 150,000
負債合計	1,589,068	4,473,251	△ 2,884,183
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	151,000,000	151,000,000	0
2. 一般正味財産	13,405,548	15,596,255	△ 2,190,707
正味財産 合計	164,405,548	166,596,255	△ 2,190,707
負債及び正味財産 合計	165,994,616	171,069,506	△ 5,074,890

正味財産増減計算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

公益財団法人雪だるま財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	2,175,424	2,245,379	△ 69,955
基本財産利息収入	2,175,424	2,245,379	△ 69,955
寄附金収入	500,000	400,000	100,000
寄 附 金	500,000	400,000	100,000
会 費 収 入	917,000	985,000	△ 68,000
賛助会員年会費	917,000	985,000	△ 68,000
事 業 収 入	14,718,487	18,959,605	△ 4,241,118
自然エネルギー推進事業 (公1)	10,746,858	11,785,903	△ 1,039,045
ふるさと交流事業 (公2)	3,005,921	6,180,342	△ 3,174,421
情報通信事業 (収1)	265,708	293,360	△ 27,652
事務局受託収入 (収2)	700,000	700,000	0
補助金等収入	0	500,000	△ 500,000
地方公共団体補助金	0	500,000	△ 500,000
雑収益	6,340,448	160,788	6,179,660
雑収入	6,340,448	160,788	6,179,660
経常収益計	24,651,359	23,250,772	1,400,587
(2) 経常費用			
事業費	24,763,921	30,569,675	△ 5,805,754
役員報酬	5,386,200	5,661,380	△ 275,180
給与手当	10,328,337	11,195,664	△ 867,327
退職給付費用	180,000	150,000	30,000
福利厚生費	2,800,234	2,892,745	△ 92,511
旅費交通費	118,345	501,060	△ 382,715
通信費	404,512	484,972	△ 80,460
減価償却費	646,664	815,337	△ 168,673
什器備品費	0	0	0
消耗品費	231,736	189,152	42,584
修繕費	0	0	0
印刷製本費	214,509	412,553	△ 198,044
燃料費	257,262	321,449	△ 64,187
水道光熱費	602,679	584,608	18,071
広告宣伝費	101,808	126,840	△ 25,032
車両関係費	75,341	188,076	△ 112,735
賃借料	476,416	416,972	59,444
損害保険料	0	2,782	△ 2,782
会議費	6,257	15,000	△ 8,743
接待交際費	0	41,902	△ 41,902
諸謝金	0	325,000	△ 325,000
租税公課	737,690	1,770,110	△ 1,032,420
負担金	109,800	172,800	△ 63,000
委託料	2,024,660	4,212,500	△ 2,187,840
雑 費	61,471	88,773	△ 27,302

科 目	当年度	前年度	増減
管理費	2,078,145	2,813,167	△ 735,022
役員報酬	485,100	565,820	△ 80,720
給与手当	718,013	973,536	△ 255,523
退職給付費用	0	0	0
福利厚生費	238,606	321,416	△ 82,810
会議費	16,589	102,508	△ 85,919
旅費交通費	75,420	255,440	△ 180,020
通信費	25,870	33,744	△ 7,874
減価償却費	17,989	25,363	△ 7,374
什器備品費	0	0	0
消耗品費	6,677	10,754	△ 4,077
修繕費	0	0	0
印刷製本費	17,895	35,874	△ 17,979
燃料費	9,588	25,226	△ 15,638
水道光熱費	47,044	64,956	△ 17,912
車両関係費	3,139	16,354	△ 13,215
賃借料	39,244	32,527	6,717
租税公課	70,950	73,170	△ 2,220
負担金	9,200	42,900	△ 33,700
委託料	294,260	225,860	68,400
支払利息	0	0	0
雑費	2,561	7,719	△ 5,158
特別会計繰入支出	0	0	0
経常費用計	26,842,066	33,382,842	△ 6,540,776
当期経常増減額	△ 2,190,707	△ 10,132,070	7,941,363
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
指定正味財産より振替	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却額	0	0	0
什器備品減価償却額	0	7	△ 7
経常外費用計	0	7	△ 7
当期経常外増減額	0	△ 7	7
当期一般正味財産増減額	△ 2,190,707	△ 10,132,077	7,941,370
一般正味財産期首残高	15,596,255	25,728,332	△ 10,132,077
一般正味財産期末残高	13,405,548	15,596,255	△ 2,190,707
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	151,000,000	151,000,000	0
指定正味財産期末残高	151,000,000	151,000,000	0
III 正味財産期末残高	164,405,548	166,596,255	△ 2,190,707

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 会計基準

平成 20 年会計基準を適用している

(2) 固定資産の減価償却について

定率法による減価償却を実施している。

(3) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

資産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
有価証券 (MSFL 日経平均連動債デジタル)	50,000,000	0	0	50,000,000
有価証券 (シルフリミテッドシリーズ 50150)	50,000,000	0	0	50,000,000
定期貯金 (えちご上越農協 安塚支店)	4,000,000	0	4,000,000	0
定期貯金 (えちご上越農協 安塚支店)	1,000,000	0	1,000,000	0
有価証券 (ソフトバンク第 56 回無担保社債)	25,000,000	0	0	25,000,000
有価証券 (ソフトバンク第 56 回無担保社債)	21,000,000	0	0	21,000,000
有価証券 (ゴールドマンサックス社債)	0	5,000,000	0	5,000,000
合 計	151,000,000	5,000,000	5,000,000	151,000,000

満期保有目的の債券については、取得価格によっている。

※償却原価法については、購入価格と債権金額との差額について重要性に乏しいため適用していない。

(4) 引当金の計上基準

常勤役員退職金を退職給付費用として計上する。

(5) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

(6) 保証金について

旅行業弁済業務保証金 600,000 (平成 18 年 4 月 20 日納入)

新潟県支部 旅行業保証金 100,000 (平成 18 年 5 月 29 日納入) 計 700,000 円

付属明細書

1 基本財産の明細

(単位：円)

資産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
有価証券 (MSFL日経平均連動債デジタル)	50,000,000	0	0	50,000,000
有価証券 (シルフリミテッドシリーズ50150)	50,000,000	0	0	50,000,000
定期貯金 (えちご上越農協 安塚支店)	4,000,000	0	4,000,000	0
定期貯金 (えちご上越農協 安塚支店)	1,000,000	0	1,000,000	0
有価証券 (ソフトバンク第56回無担保社債)	25,000,000	0	0	25,000,000
有価証券 (ソフトバンク第56回無担保社債)	21,000,000	0	0	21,000,000
有価証券 (ゴールドマンサックス社債)	0	5,000,000	0	5,000,000
合 計	151,000,000	5,000,000	5,000,000	151,000,000

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	150,000	0	150,000	0	0

3 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

建物付属設備科目の物件	取得価格	減価償却 累計額	当期末残高
事務所パッケージエアコン	1,263,600	178,377	1,085,223
合 計	1,263,600	178,377	1,085,223

(単位：円)

車両運搬具科目の物件	取得価格	減価償却 累計額	当期末残高
車両 トヨタ シエンタ	2,496,572	2,016,866	479,706
合 計	2,496,572	2,016,866	479,706

(単位：円)

什器備品科目の物件	取得価格	減価償却 累計額	当期末残高
パーソナルコンピュータ(6台)	1,223,874	958,242	265,632
書棚	84,000	83,999	1
ふく射温度計	60,900	60,899	1
事務椅子	119,700	117,303	2,397
間仕切りカーテン	324,000	294,062	29,938
合 計	1,812,474	1,514,505	297,969

4 保証金の明細

(単位：円)

種 別	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
旅行業弁済業務保証金	600,000	0	0	600,000
新潟県支部 旅行業保証金	100,000	0	0	100,000
合 計	700,000	0	0	700,000

5 預託金

車両 (トヨタ シエンタ) のリサイクル預託金の額を計上

財 産 目 録

公益財団法人 雪だるま財団

令和3年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金預金 普通預金	第四銀行安塚支店	運転資金として	6,048,724	
		えちご上越農協安塚支店	運転資金として	871,356	
	現金預金 計			6,920,080	
	未収入金	上越市 他	公1 自然エネルギーに関する調査・研究受託料等	3,196,570	
		越後田舎体験推進協議会他	公2 「越後田舎体験」事業の受入料他	1,931,750	
		会員	取1 名刺作成代金	5,500	
		新潟労働局	雑収入 雇用調整助成金	367,458	
	未収入金 計			5,501,278	
	流動資産合計				12,421,358
	(固定資産)	基本財産 有価証券	第四北越証券株式会社	公益目的保有財産であり、運用益を管理費の財源として使用している	50,000,000
第四北越証券株式会社			同上	5,000,000	
野村証券株式会社			同上	50,000,000	
野村証券株式会社			同上	25,000,000	
大和証券株式会社			同上	21,000,000	
基本財産 計			151,000,000		
その他の 固有資産		什器備品	パーソナルコンピュータ(6台)	公益目的事業、収益事業、管理業務で使用している共用資産である	265,632
			事務椅子	同上	2,397
			間仕切りカーテン	同上	29,938
			書棚	同上	1
			ふく射温度計	公1で使用している	1
			什器備品 計		
建物付属設備		パッケージエアコン	公益目的事業、収益事業、管理業務で使用している共用資産である		1,085,223
			建物付属設備 計		
車両運搬具		車両 トヨタ シエンタ	公2の財産として管理している		479,706
車両運搬具 計			479,706		
保証金	全国旅行業協会	公2の財産として管理している		700,000	
保証金 計			700,000		
預託金	車両 トヨタ シエンタ	公2の財産として管理している		10,360	
預託金 計			10,360		
固定資産合計				153,573,258	
資産合計				165,994,616	
(流動負債)	未払金	公1 自然エネルギーの普及業務にかかる通信費		80,520	
		公1 自然エネルギーの普及業務にかかる委託料		697,950	
		公1 自然エネルギーの普及業務にかかる光熱費		4,072	
		管理業務にかかる委託料		192,500	
		公益目的、収益、管理業務にまたがる共用の未払金		361,626	
		未払金 計			1,336,668
	預り金	役職員他	源泉所得税19,760、住民税91,600、社保53,280		164,640
			雪室関係		77,760
			会費		10,000
			預り金 計		
流動負債合計				1,589,068	
(固定負債)	退職給付引当金	常勤役員に対するもの	常勤役員に対する退職金の支払いに備えたもの	0	
固定負債合計				0	
負債合計				1,589,068	
正味財産				164,405,548	

科目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	共通	小計	取1	取2	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	2,175,424	2,175,424
寄付金収入	0	0	500,000	500,000	0	0	0	0	0	500,000
受取会費	0	0	817,000	817,000	0	0	0	0	0	817,000
事業収益	10,748,858	3,005,921	0	13,752,779	265,708	700,000	0	965,708	0	14,718,487
自然エネルギー推進事業収入	10,748,858	0	0	10,748,858	0	0	0	0	0	10,748,858
ふるさと交流事業収入	0	3,005,921	0	3,005,921	0	0	0	0	0	3,005,921
情報通信事業収入	0	0	0	0	265,708	0	0	265,708	0	265,708
田舎体験事務局収入	0	0	0	0	0	700,000	0	700,000	0	700,000
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地方公共団体補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	1,862,374	1,758,703	0	3,621,077	11,999	148,907	2,200,000	2,360,906	358,465	6,340,448
経常収益計	12,609,232	4,764,624	1,417,000	18,790,856	277,707	848,907	2,200,000	3,326,614	2,533,889	24,651,359
(2) 経常費用										
事業費										
役員報酬	4,577,700	808,500	0	5,386,200	0	0	0	0	0	5,386,200
給料手当	5,081,321	4,805,182	0	9,886,483	33,139	408,716	0	441,854	0	10,328,337
退職給付費用	180,000	0	0	180,000	0	0	0	0	0	180,000
福利厚生費	1,486,582	1,243,874	0	2,730,456	9,101	60,677	0	58,778	0	2,800,234
旅費交通費	108,865	9,380	0	118,345	0	0	0	0	0	118,345
通信運搬費	258,036	137,749	0	395,785	1,008	6,719	0	7,727	0	404,512
減価償却費	178,737	457,033	0	635,770	3,823	6,071	0	9,894	0	646,664
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	194,181	35,551	0	229,742	260	1,734	0	1,994	0	231,736
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	113,878	85,286	0	209,164	697	4,648	0	5,345	0	214,509
燃料費	137,404	110,269	0	247,673	0	9,588	0	9,588	0	257,262
水道光熱費	338,133	250,484	0	588,617	1,833	12,219	0	14,052	0	602,679
広告宣伝費	0	0	101,808	101,808	0	0	0	0	0	101,808
車両関係費	36,101	36,101	0	72,202	0	3,139	0	3,139	0	75,341
賃借料	260,477	206,128	0	466,605	0	9,811	0	9,811	0	476,416
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	2,457	3,800	0	6,257	0	0	0	0	0	6,257
渉外交渉費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
謝礼金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	376,222	331,980	0	708,182	3,888	25,818	0	29,508	0	737,690
支払負担金	28,800	83,000	0	109,800	0	0	0	0	0	109,800
委託費	2,008,160	0	0	2,008,160	16,500	0	0	16,500	0	2,024,660
有価証券運用損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	31,056	27,534	0	58,590	640	2,241	0	2,881	0	61,471
事業費 合計	15,388,220	8,641,821	101,808	24,141,849	70,690	551,382	0	622,072	0	24,763,921
管理費										
役員報酬									485,100	485,100
給料手当									718,013	718,013
退職給付費用									0	0
福利厚生費									238,606	238,606
会議費									16,589	16,589
旅費交通費									75,420	75,420
通信運搬費									25,870	25,870
減価償却費									17,889	17,889
消耗什器備品費									0	0
消耗品費									6,677	6,677
修繕費									0	0
印刷製本費									17,895	17,895
燃料費									9,588	9,588
水道光熱費									47,044	47,044
車両関係費									3,139	3,139
賃借料									39,244	39,244
保険料									0	0
謝礼金									0	0
租税公課									70,950	70,950
支払負担金									9,200	9,200
支払委託費									294,280	294,280
雑費									2,561	2,561
管理費 合計	0	0	0	0	0	0	0	0	2,078,145	2,078,145
経常費用計	15,388,220	8,641,821	101,808	24,141,849	70,690	551,382	0	622,072	2,078,145	26,942,066
評価損益等調整前当期経常増減額										
基本財産評価損益等										
特定資産評価損益等										
投資有価証券評価損益等										
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,788,988	△ 3,877,197	1,315,192	△ 5,350,993	207,017	297,525	2,200,000	2,704,542	455,744	△ 2,180,707
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
指定正味財産からの振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	1,326,189	1,326,189	0	0	△ 1,326,189	△ 1,326,189	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,788,988	△ 3,877,197	1,315,192	△ 4,024,824	207,017	297,525	873,831	1,378,373	455,744	△ 2,180,707
一般正味財産期首残高	△ 17,364,200	△ 7,182,513	37,344,027	12,817,314	2,874,300	743,787	△ 1,318,797	2,098,290	879,851	15,596,255
一般正味財産期末残高	△ 20,153,188	△ 11,039,710	38,659,219	8,792,490	2,881,317	1,041,312	△ 444,966	3,477,663	1,135,395	13,405,548
II 指定正味財産増減の部										
受取補助金等										
一般正味財産への振替額										
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	151,000,000	151,000,000	0	0	0	0	0	151,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	151,000,000	151,000,000	0	0	0	0	0	151,000,000
III 正味財産期末残高	△ 20,153,188	△ 11,039,710	189,659,219	159,792,490	2,881,317	1,041,312	△ 444,966	3,477,663	1,135,395	164,405,548

監査報告書

令和3年4月27日

公益財団法人 雪だるま財団
理事長 渡辺 武敏 殿

公益財団法人 雪だるま財団

監事

八木 勇二



私は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度における理事の職務を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。立会人は、渡辺理事長、竹内（会計担当）の2名でした。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思の疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及び附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

令和3年度 公益財団法人 雪だるま財団 事業計画書

自然エネルギー推進、ふるさと交流事業を中心として、地域資源の価値を高め、地域を盛り立てることに重点を置き事業を展開する。地域・人・物の連携を図り、具体的な実践活動を行う。

■ 公益目的事業

自然エネルギー推進事業

(公1) 雪国に賦存する地域資源を有効活用し、環境保全と地域社会の発展に寄与する事業

(事業の内容)

地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出抑制効果がある自然エネルギーの有効活用について調査研究や普及活動を継続して行い、環境保全と地域社会の発展に寄与する。

1 自然エネルギーに関する調査・研究

雪冷熱・太陽光等の自然エネルギーを活かした技術開発を行い、地域資源を有効に活用する調査、及びシステムの研究開発を行う

○雪冷熱・太陽光等の自然エネルギーの導入に関する調査

○雪冷熱エネルギー活用の新たな施策検討のための調査研究

・市内等への雪中貯蔵施設整備に向けた調査

・農畜産物等の雪中貯蔵に伴う調査・分析（有効な貯蔵方法や期間の検証、雪中貯蔵効果事例の検証）

2 自然エネルギーの普及・推進活動

○自然エネルギーを活用した雪室の利活用の推進と運営支援

・雪室推進プロジェクト運営支援（年間）

・雪室利活用運営支援（年間）

○自然エネルギーに関する理解や認知度の向上と利用拡大を目指すためのセミナーの開催

○地球温暖化防止への意識を高めるため、小・中学生を対象とした自然エネルギーの知識を学ぶ教育プログラムの実施

・環境講座等の開催

○相談・助言

・雪冷熱エネルギーの導入促進及び普及、専門家の派遣

・雪を利用した（農産物等の）貯蔵方法や、冷房システムに関する助言及び技術指導

・その他、再生可能なエネルギーの高効率化や省エネルギーに関する助言及び技術指導

○ホームページや雪だるま通信などによる情報発信、視察対応

ふるさと交流事業

(公2) 地域資源を活かした体験交流を促進し、青少年の健全な育成及び地域の活性化に寄与する事業

(事業の内容)

日本の原風景とそこに生きる人々の暮らしを活かした体験交流活動や地域づくりの提案等を行い、青少年の健全な育成、地域の活性化に寄与する。

1 小中高校生等を教育体験旅行で地域に受け入れる「越後田舎体験」事業を行う。

越後田舎体験推進協議会の事務局を受託し、コーディネータ役として、協議会の運営、学校団体の受入れ、受入のレベルアップ、地域連携の強化、営業活動等を行い、組織の強化と集客増を目指す。

○地域資源を活かした教育旅行の受入れ

○体験活動に関する指導者等の人材育成のための研修・セミナーの実施

○体験活動に関する情報提供（雪だるま通信）、ホームページ等

2 魅力ある地域資源を活かした交流事業を行う。

行政・地域・各種団体との連携や他地域との連携を図りながら観光交流人口の拡大を目指す。

○上越及びその周辺地域における地域資源（自然、農林漁業、暮らし・文化・歴史、人材等）を活用した観光交流事業

○人材発掘・育成のための研修

○観光事業における各種団体等との連携

○各種情報提供、視察等の開催

3 行政・地域・各種団体と連携し、地域の人々に対して、持続可能なまちづくりを目指した企画・提案等を行う。

○地域の課題を整理し、解決に導くためのワークショップ等を開催する。

地域を先導するリーダーを育成するための研修会・学習会を開催する。

■ 収益目的事業

(収1) 情報通信事業

- (1) 各種団体等の情報の受発信のための支援
- (2) 各種団体等のホームページ作成及び運営支援

(収2) 事務委託事業

越後田舎体験推進協議会より委託を受け、下記の事務を行う。

- (1) 越後田舎体験推進協議会の総会等の会議、研修・視察等開催・運営
- (2) 越後田舎体験推進協議会の会計事務
- (3) その他総務事務

科目	公益目的事業会計				収益事業会計				法人会計	合計
	公1	公2	共通	小計	取1	取2	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	2,180,000	2,180,000
寄付金収入	0	0	500,000	500,000	0	0	0	0	0	500,000
受取会費	0	0	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000
事業収益	3,000,000	3,000,000	0	6,000,000	300,000	700,000	0	1,000,000	0	7,000,000
自然エネルギー推進事業収入	3,000,000	0	0	3,000,000	0	0	0	0	0	3,000,000
ふるさと交流事業収入	0	3,000,000	0	3,000,000	0	0	0	0	0	3,000,000
情報通信事業収入	0	0	0	0	300,000	0	0	300,000	0	300,000
田舎体験事務局収入	0	0	0	0	0	700,000	0	700,000	0	700,000
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地方公共団体補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000
経常収益計	3,000,000	3,000,000	2,500,000	8,500,000	300,000	700,000	0	1,000,000	2,180,000	11,680,000
(2) 経常費用										
事業費										
役員報酬	735,000	980,000	0	1,715,000	0	0	0	0	0	1,715,000
給与手当	3,806,250	3,837,500	0	7,643,750	43,750	306,250	0	350,000	0	8,093,750
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	974,400	1,009,900	0	1,984,300	11,200	78,400	0	89,600	0	2,072,000
旅費交通費	40,000	100,000	0	140,000	0	0	0	0	0	140,000
通信運搬費	239,700	155,700	0	395,400	6,920	17,300	0	24,220	0	419,620
減価償却費	114,700	387,200	0	481,900	2,750	4,400	0	7,150	0	489,050
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	74,000	44,000	0	118,000	200	3,800	0	4,000	0	122,000
修繕費	30,000	0	0	30,000	0	0	0	0	0	30,000
印刷製本費	119,250	118,250	0	237,500	530	12,720	0	13,250	0	251,750
燃料費	133,500	103,500	0	237,000	0	11,500	0	11,500	0	248,500
水道光熱費	302,130	269,100	0	571,230	2,990	20,930	0	23,920	0	595,150
広告宣伝費	0	0	100,000	100,000	0	0	0	0	0	100,000
車両関係費	59,500	58,500	0	117,000	0	6,500	0	6,500	0	123,500
賃借料	230,100	207,000	0	437,100	2,300	16,100	0	18,400	0	455,500
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
渉外交渉費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	540,000	270,000	0	810,000	18,000	72,000	0	90,000	0	900,000
支払負担金	0	60,000	10,000	70,000	0	0	0	0	0	70,000
委託費	200,000	0	0	200,000	0	0	0	0	0	200,000
有価証券運用損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	30,800	30,800	0	61,600	0	2,800	0	2,800	0	64,400
事業費 合計	7,628,330	7,730,550	110,000	15,468,880	88,640	552,700	0	641,340	0	16,110,220
管理費										
役員報酬									735,000	735,000
給料手当									658,250	658,250
退職給付費用									0	0
福利厚生費									168,000	168,000
会議費									30,000	30,000
旅費交通費									160,000	160,000
通信運搬費									10,380	10,380
減価償却費									12,950	12,950
消耗什器備品費									0	0
消耗品費									8,000	8,000
修繕費									0	0
印刷製本費									13,250	13,250
燃料費									11,500	11,500
水道光熱費									44,850	44,850
車両関係費									6,500	6,500
賃借料									34,500	34,500
保険料									0	0
諸謝金									0	0
租税公課									74,000	74,000
支払負担金									35,000	35,000
支払委託費									210,000	210,000
雑費									5,600	5,600
管理費 合計	0	0	0	0	0	0	0	0	2,215,780	2,215,780
経常費用計	7,628,330	7,730,550	110,000	15,468,880	88,640	552,700	0	641,340	2,215,780	18,326,000
評価損益等調整前当期経常増減額										
基本財産評価損益等										
特定資産評価損益等										
投資有価証券評価損益等										
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,628,330	△ 4,730,550	2,390,000	△ 6,968,880	211,360	147,300	0	358,660	△ 35,780	△ 6,646,000
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
指定正味財産からの振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	△ 4,628,330	△ 4,730,550	2,390,000	△ 6,968,880	211,360	147,300	0	358,660	△ 35,780	△ 6,646,000
他会計振替額	0	0	88,209	88,209	0	0	△ 88,209	△ 88,209	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,628,330	△ 4,730,550	2,478,209	△ 6,880,671	211,360	147,300	△ 88,209	270,451	△ 35,780	△ 6,646,000
一般正味財産期首残高										
一般正味財産期末残高										
II 指定正味財産増減の部										
受取補助金等										

一般正味財産への振替額										
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	151,000,000	151,000,000	0	0	0	0	0	151,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	151,000,000	151,000,000	0	0	0	0	0	151,000,000
III 正味財産期末残高	0	0	151,000,000	151,000,000	0	0	0	0	0	151,000,000